

社長メッセージ



**安全と品質を最優先に高稼働を続け、
過去最高水準の利益を達成いたしました。
今後もより堅実で強固な企業体質を育み、
お客さまにより良い価値を
提供してまいります。**

皆さまにこのメッセージを執筆している今この時、世界は現世代で最も深刻な健康への脅威の一つに直面しています。それにより世界経済や私たちの生活は多大な影響を被っています。新型コロナウイルスの世界的な蔓延により深刻な被害にあわれている皆さまと地域社会に、心よりお見舞い申し上げます。

私は、世界各地で活躍する2万3千人の当社の従業員を誇りに思っていることを、皆さまにお伝えしたいと思います。当社グループで働く全員が、この非常時の中で、職場の安全を保ちながら設備の稼働を継続し、お客さまへの供給を果たすために、素晴らしい仕事を積み重ねています。しっかりとした目的意識のもとでの精勤に、感謝の念が尽きません。グループで働く人たちの綿密さ、集中力、そしてチームワークは類まれなものといえるでしょう。申すまでもなく、当社は従業員の健康と安全を最優先しています。また、当社執行部の皆さんの優れた指導力にも心より感謝の意を表します。

2019年度は当社にとって再び輝かしい事業年度となりました。経営努力によって過去最高の利益の更新を継続することができました。現在の状況を見渡していただければ、2019年度の化学そして素材産業の中で、減益とならなかったことが稀有なこととご理解いただけたと思います。投下資本利益率(ROIC)と自己資本利益率(ROE)は、それぞれ19.4%と12.3%を維持しました。2010年3月期以降の累積成長額は税引後利益で2,302億円、年平均成長率は14.1%です。これらの実績とこれまでに積み上げてきた成果により、今まさに直面している極めて難しい局面におきましても、当社は強い力をもって対処することができます。2019年度には2,650億円の設備投資を行いました。2020年度も2,400億円の設備投資を行う予定で、生産能力の増強に加えて業界での優位性を高めることを目指します。これらの投資は、優先順位を考慮し統制を取りながら実施してまいります。当社はこれまでも目標を明確に定め、事業の基本を尊重し、さまざまな問題に対処してきました。今後も献身的に働く従業

員と共に、堅実で強固な企業体質を育み、お客さまにより良い価値を提供し、技術革新を図り、株主の皆さまへの還元を進めてまいります。

塩ビ・化成品事業では、はじめにシンテックのエチレン工場が操業を開始しましたことをご報告いたします。原料からの一貫生産体制の強化はシンテックの長期的な競争力を高めます。同時にシンテックは、新たな一貫生産工場を建設中で、計画どおりに進めています。さらに、それに続く第二期の増設計画の検討作業を開始しました。シリコン事業では、発表のとおり主要な生産拠点でのシリコンモノマーと最終製品の生産能力の増強を進めています。これらの設備投資により、世界中のお客さまに向けた供給能力と製品構成の強化を図ります。機能性化学品事業においては、医薬および工業用途のセルロース事業を拡大し、さらに、食品用途でも当社のセルロース事業の地位を高めてまいります。環境の面で持続可能な方法で、農産物の収率を高めることに寄与するフェロモン製品に、新たな製品を追加いたします。ポバール製品群の差別化にも引き続き取り組みます。

半導体デバイス産業は短期的な変動の影響を受けていますが、長期的には成長に向かうと確信しています。お客さまに高品質で最先端のシリコンウエハーを供給するために、実効性のある取り組みを進めてまいります。当社はフォトレジスト、フォトマスクブランクス、その他の製品など半導体デバイス産業向けの製品を供給しています。半導体デバイス産業が必要とする高品質のあらゆる素材を当社1社で提供できること

を目指し、今後も製品群を拡充してまいります。レア・アースマグネットの利用は引き続き増加し、その用途も拡大しているため、一貫生産体制の強化と供給能力の増強に取り組んでいます。当社の封止材製品群および基板製品群では、5Gに必要とされる新製品を上市しました。また、当社は光ファイバーケーブルの母材であるプリフォームを供給する唯一のマーチャント・サプライヤーとして、引き続き光ファイバー市場に商品を提供してまいります。同時に、あらゆるサイズの高純度合成石英基板の需要の増加にも速やかに対応いたします。

当社グループは全ての生産拠点において、安全と品質を最優先にしながら高稼働を続けています。各拠点では、前述のとおりグループ全体で2万3千人の意欲あふれる仲間が、当社の使命を果たすために日々取り組んでいます。働く仲間の実行力と熱意が当社に成功をもたらします。当社では、従業員が技能を高めるとともに、全ての人が敬意をもって尊重され、活躍できる機会が等しく与えられる企業風土を育んでいます。人材育成の面でも、マネージャーの指導によるOJTに加え各種の研修や能力開発プログラムなど、多様な機会を提供しています。

当社は研究開発への取り組みをさらに強化しています。2019年度は、売上高の3.1%に相当する485億円を研究開発に投入しました。およそ1,000品目の新製品を上市し、1,892件の特許を取得しました。売上高の30%以上は特許に裏打ちされた製品の販売です。当該年度には、石英クロス、熱硬化性超低誘電樹脂、

窒化ガリウム関連製品およびマイクロLED向け材料など新製品を上市しました。

当社の技術とエンジニアリングにおける専門技能は、ものづくりの支柱です。従業員による安全と品質に対する責任のある取り組みに加えて、当社が有する専門技能は、品質の高い製品を約束した期日に安定的に提供することを可能にします。当社グループでは、そこに働く全員がお客さまを中心にして仕事に取り組んでいますので、お客さまは当社と共に取り組む仕事のしやすさに気づかれるでしょう。当社はお客さまのニーズにお応えし、問題解決のお手伝いができまよう、開発力と目標を実現する技術の提供に引き続き注力してまいります。

当社の製品構成と研究開発の目指すところは、持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる課題の解決につながります。当社の製品を提供することがSDGsの達成に貢献し、同時にSDGsによって当社の事業機会も拡大すると考えています。今後、人間社会が「持続的な発展とその質の向上」、そして「人間の活動がもたらす環境への負荷を大幅に減らしていくこと」を同時に追求していくために、効率性を極限まで高めることが必須と考えます。接続性、資源効率、生産性の向上、スマートインフラストラクチャー、健康増進は、当社が現

在取り組んでいる主要なテーマです。これらを進めるために、当社が生産する既存の製品を提供し、改良することに加えて、事業を通じて革新していくことに力を注いでいます。当社の素材があったからこそ、生活が改善、向上し、市場やお客さまの課題が解決できたと評価される—そのような価値のある製品を提供する—これが当社が日々取り組んでいる使命です。

当社は株主の皆さまへの還元特に留意しています。1株当たり220円の年間配当金を公表しました。これは、当社の歴史の中で最も高い配当金額です。

当社がこれまでお客さま、株主の皆さま、地域社会に実施してきましたことをこれからも継続していくには、会社が成長を続けていくことが必須です。そのために、品ぞろえを拡充し、事業領域を広げるべく、多岐にわたる新たな計画に取り組んでいます。当社は引き続きお客さまとお客さまのニーズにお応えすることに注力し、企業統治を適切に行うことで、社会への責任を果たしてまいります。

株主の皆さまからお寄せいただいている信頼とお客さまのパートナーシップに厚く御礼申し上げますとともに、信越化学グループに働く皆さんの業務への献身的な取り組みに心から感謝申し上げます。

代表取締役社長

青藤 恭彦

社会の持続可能な成長に向けて

地球環境への負荷を抑えながら社会の持続的な発展と質の向上を目指し、健康で安全・安心な生活環境を築いていくには、効率性を極めていくことが欠かせません。信越化学グループでは、この課題に応じて、通信ネットワークへの「接続性」、資源やエネルギーの「資源効率」、「生産性の向上」、「スマートインフラ」、「健康増進」などの分野に製品を送り出すことで、SDGsの達成に貢献してまいります。

